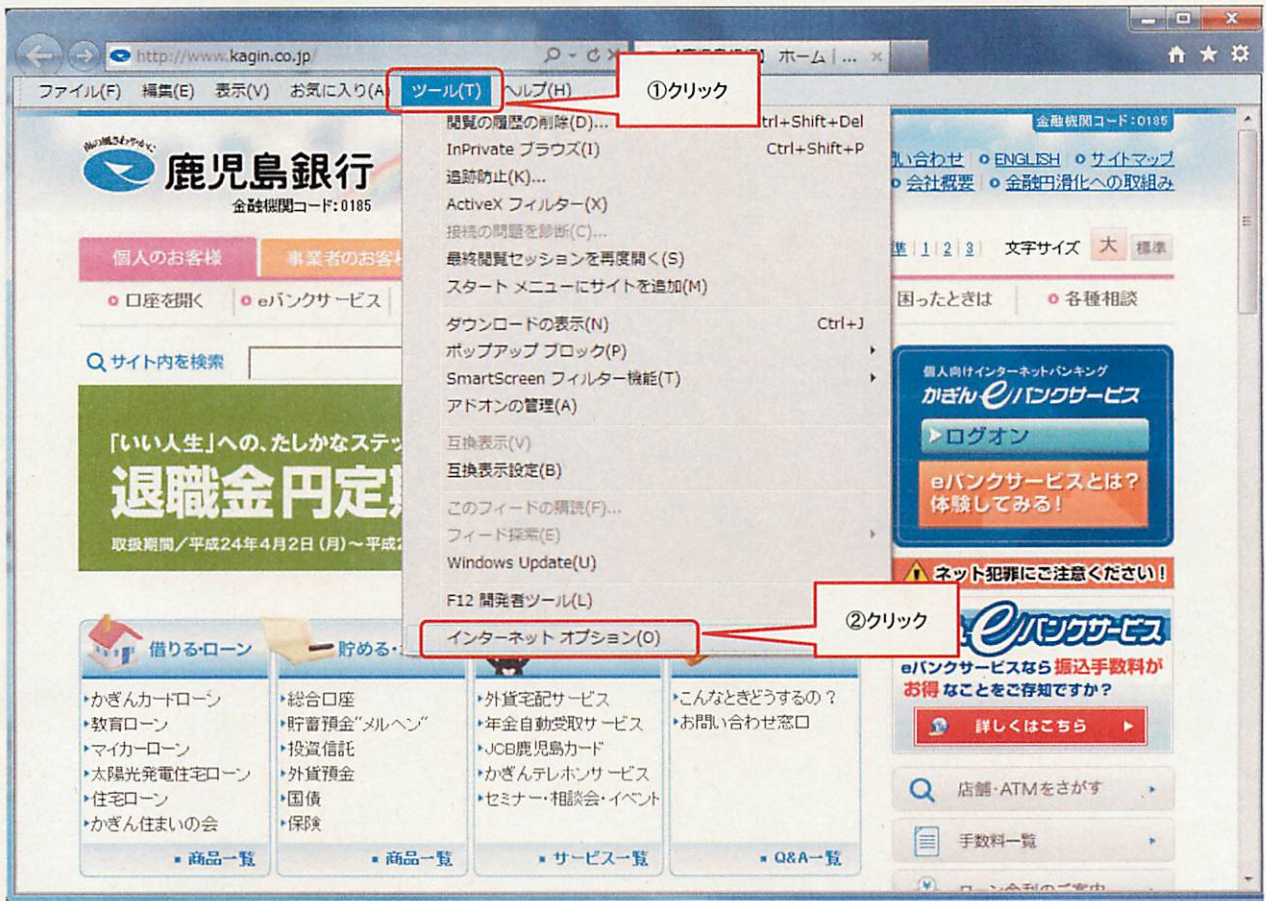
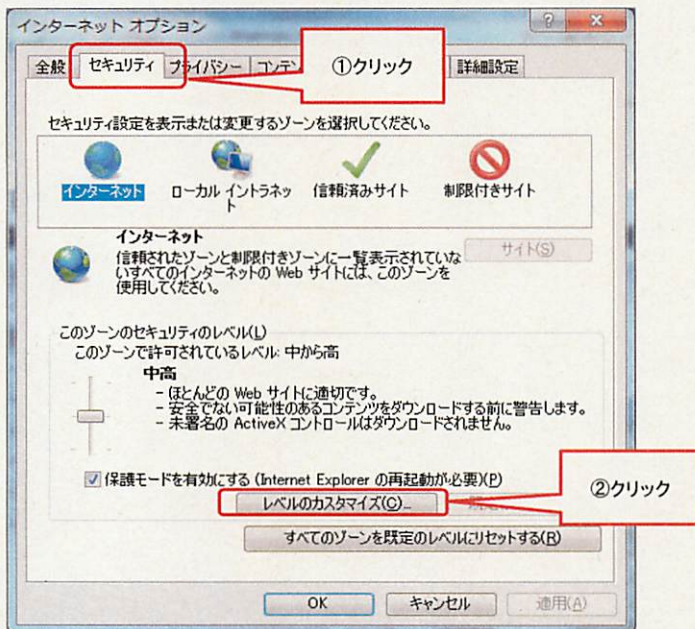


1. スクリプトを有効にする設定手順

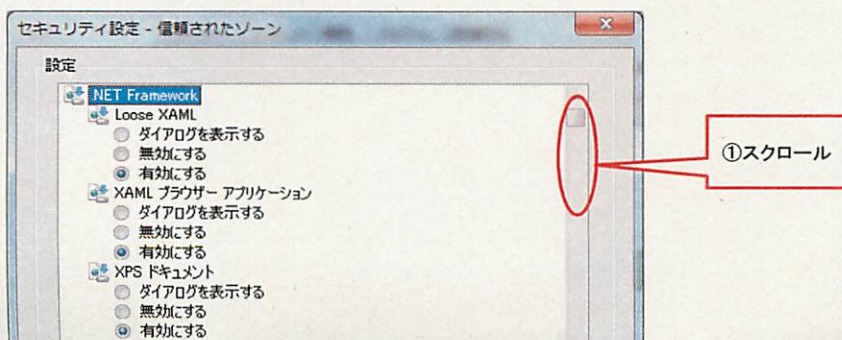
(1) インターネットエクスプローラを起動し、メニューバーの『ツール』-『インターネットオプション』をクリック



(2) インターネットオプションの『セキュリティ』タブをクリックし、『レベルのカスタマイズ』をクリック



(3) セキュリティ設定画面の、“スクリプト”関連の項目を有効に設定する。



- NET Framework セットアップを有効にする
 - 無効にする
 - 有効にする
- NET Framework 依存コンポーネント
 - Authenticode で署名したコンポーネントを実行する
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - Authenticode で署名しないコンポーネントを実行する
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - マニフェストがあるコンポーネントのアクセス許可
 - 安全性 - 高
 - 無効にする
- ActiveX コントロールとプラグイン
 - ActiveX コントロールとプラグインの実行
 - ダイアログを表示する
 - 管理者の許可済み
 - 無効にする
 - 有効にする
 - ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示
 - 無効にする
 - 有効にする
 - ActiveX を警告なしで使用することを承認済みのドメインにのみ許可する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - スクリプトレットの許可
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスク
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア
 - 管理者の許可済み
 - 無効にする
 - 有効にする
 - 外部メディア プレーヤーを使用しない Web ページのビデオやアニメーションを
 - 無効にする
 - 有効にする
 - 署名された ActiveX コントロールのダウンロード
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - 前回使用されなかった ActiveX コントロールを警告なしで実行するのを許可
 - 無効にする
 - 有効にする
 - 未署名の ActiveX コントロールのダウンロード
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
- スクリプト
 - Java アプレットのスクリプト
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - XSS フィルターを有効にする
 - 無効にする
 - 有効にする
 - アクティブ スクリプト
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - スクリプトでのステータス バーの更新を許可する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - スクリプトによる貼り付け処理の許可
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力
 - 無効にする
 - 有効にする
- その他
 - IFRAME のプログラムとファイルの起動
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - Microsoft Web ブラウザー コントロールのスクリプトの実行を許可する
 - 無効にする
 - 有効にする
 - MIME スニффイングを有効にする
 - 無効にする
 - 有効にする
 - SmartScreen フィルター機能を使う
 - 無効にする
 - 有効にする
 - Software channel permissions
 - 安全性 - 高
 - 安全性 - 中
 - 安全性 - 低
 - UserData の常設
 - 無効にする
 - 有効にする
 - Web サイトがアドレス バーやステータス バーのないウィンドウを開くのを許可す
 - 無効にする
 - 有効にする
 - Web ページが、制限されたプロトコルをアクティブ コンテンツに使用することを許
 - ダイアログを表示する
 - 無効にする

②クリック

③クリック

④クリック

